



沼田消防演習の延期について

令和2年7月10日（金）に開催を予定していました沼田消防演習ですが、現在、北海道において新型コロナウイルス感染症の第2波が収まらない状況です（5/20現在）。このことにより消防団員を始め町民皆様方の感染を防ぐため沼田消防演習を延期することにいたしました。

今後の開催につきましては、広報紙等でご連絡させていただきますのでご理解をお願いいたします。

IH クッキングヒーターによる火災事例が増えています！

新築やリフォームの際にガスコンロではなく、IH クッキングヒーターを選ぶご家庭が増えていますが、その理由の一つとして、「安全性が高い」、「手入れが簡単」などが挙げられます。実際にガスと違い炎が出ないため、着衣発火などの危険はありませんが、IH クッキングヒーターは「100%安全だ」とは言い切ることが出来ません。使用方法に注意して、安心、安全に使用しましょう。

～ IH クッキングヒーター火災を防ぐポイント～

- ・加熱中は、絶対にその場から離れない。

⇒ IH はガスに比べ急激に加熱するため、目を離すのは非常に危険です。

万が一発火した場合に初期消火等の対応が遅れる場合があるので少しの間でも目を離さないようにしましょう。

- ・鍋底が変形した鍋や IH 対応以外の調理器具等は使用しない。

⇒鍋底が変形した鍋や、IH 対応以外の調理器具等を使用した場合は、安全装置が作動せず加熱され続け発火する場合があるため注意しましょう。

- ・鉄板などの鉄製品（缶詰、アルミ製品、カセットコンロ）などを IH 上に置かないようにしましょう。

⇒使用後の IH クッキングヒーターはしばらく高温、高熱状態になっているため火災や熱傷の危険性があります。絶対に物を置かないようにしましょう。

- ・揚げ物は適量の油で行いましょう。

⇒少ない油で揚げ物をすると、急激に油の温度が上がるため、安全装置が作動する前に発火温度に達することがあります。揚げ物モードがある機種は必ず、揚げ物モードを使用しましょう。

- ・使用後は必ず主電源を切りましょう。

⇒主電源を切ることによって誤って加熱スイッチを押しても、火災や事故を未然に防ぐことができます。特に小さいお子さんの居る家庭では、徹底しましょう。

